

広島県中小企業団体中央会 2017年11月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

11月の出荷量は前月比4.7%増加、前年同月比30.0%減少、売上高は前月比1.9%増加、前年同月比28.1%減少となった。対前年同月比減少は、昨年9月～12月、スポット受注による出荷量増加によるものである。

繊維・同製品

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

来春夏物の生産がスタートしている。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成29年10月の全国の住宅着工戸数は83,057戸で、前年同月比4.8%減少
- ・季節調整済年率換算値では93.3万戸（前月比2.0%減少）
- ・利用関係別では、持家は24,807戸で前年同月比4.8%減少、貸家は38,017戸で前年同月比4.8%減少、分譲住宅は19,588戸で前年同月比4.8%減少
- ・木造住宅の着工数は49,052戸で、前年同月比3.7%減少
- ・住宅着工の動向は、前年同月比で4ヶ月連続の減少

<広島県>

- ・広島県内の10月の着工戸数は1,963戸で前年同月比35.0%増加、このうち、持家は474戸で前年比5.6%の減少、貸家は980戸で前年比33.2%増加、分譲は497戸で前年比131.2%の増加
- ・県全体の住宅着工の動向は、2ヶ月連続の増加となり、プレカットは依然好調
- ・地域別では広島市が着工戸数966戸で43.1%増加、東広島市が196戸で69.0%増加、廿日市市が112戸で100.0%増加となった一方で、福山市は324戸で3.9%減少、尾道市は24戸で31.4%減少と地域ごとにばらつきがある
- ・全国の傾向とは異なり、広島県内は依然高水準で推移しており、年末までの仕事量に不足感はなさそうである
- ・需要の継続性について先行き不安の声もあり、経営規模や業態によって景況感に偏りがある聞き取り結果となっており、中小会員の経営環境は厳しく、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある

福山木材協同組合

昨年の10月～12月辺りが好況であったため、今月は対前年同月比減少となったが、悲観する程ではない。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況は厳しく、今月も組合員が1社減少している。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月に引き続き、景況に大きな変化は見られない。

自動車産業の好況や、オリンピック需要に伴う産業資材の需要増加により、従来になく仕事量が増え、高負荷が続く中で人材の育成にも注力していかなければならない。昨今、日本の製造業全体の品質への疑問の声が上がる中、我々業界も現実をきちんと測った上で、暗黙知を形式知に変換すること、問題を隠さずさらけ出すこと、失敗を許す企業風土作りなどの対応が求められている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上、設備操業度は全体的に各社横ばい傾向にある。自動車関連も同様に、10月に続いて11月も設備操業度は横ばい傾向にある。

OPECの減産方針も継続しており、今後の原油市況が心配される。それに伴い、樹脂原材料への影響も懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年11月 3,283m³ (対前年比2.08%増加)

29年10月 3,053m³

28年11月 3,216m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

年末調整説明会等、企業などに必要な、又は有益な情報は、会場に行かなくてもWeb配信によりいつでも空いている時間に視聴できるよう、業務の効率化への対応をお願いしたい。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機の後方パネル組立は前月同様定時操業で推移している。タービン、コンプレッサーは前月の操業に比べ多少上向している状況である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、自動車関連が好調であることと、スポット受注による増減、出荷時期の変更により、対前年比26%増加、対前年同月比14%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出売上が増加し、国内売上の低迷により、対前月比11.2%増加、前年同月比17.4%減少となった。

雇用問題、賃金問題、残業規制等中小企業にとっては厳しいものばかりである。業界ごとに事情を勘案した立案をお願いしたい。業界として、意見を述べる環境や場がない。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持している。

- ・11月の国内自動車販売台数は全需が406千台、前年同月比2.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ。登録車も前年比5.4%減少と2ヶ月連続の前年割れ。軽自動車は2.9%増加と8ヶ月連続の前年超え。マツダ車は19.3%減少と3ヶ月振りの前年割れ。
- ・アメリカの10月の全需は1,355千台で前年同月比1.3%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同8.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ。
- ・欧州の10月の全需は1,408千台で、前年同月比6.4%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同2.3%増加と2ヶ月振りの前年超え。
- ・中国の10月の全需は2,760千台で、前年同月比4.5%増加。マツダ車も同4.0%増加と9ヶ月連続の前年超え。
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の10月の海外販売合計台数は113千台、前年同月比3.5%増加と2ヶ月振りの前年超え。
- ・マツダの10月の輸出動向については、輸出台数は前年比19.6%減少と2ヶ月振りの前年割れ。
- ・マツダの10月の国内生産台数は、前年同月比1.2%増加と3ヶ月振りの前年超え。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年11月の船舶建造許可実績は3隻188,400総トン（前月5隻278,400総トン、前年同月5隻256,600総トン）であった。なお、このうち1隻は貨物船で2隻が油槽船。全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

東京ビッグサイトで年内最後の家具インテリア住関連催事、IFFT見本市、ジャパンホームショーが開催された。今年は建材メーカーからの声かけもあり、販路拡大を目指し組合員からも数社が参加した。

先月同様、比較的好調であったベッド関連が苦戦、リビング、ダイニング関係は横ばい、コントラクト（ホテル関係）は堅調に推移している。全体では前年同月比変化なしとなった。先行き不安感はある。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

中小卸売業者は、大規模店舗の出店や、販売先小売店の閉店の他、大手卸売業者の寡占化等により厳しい状況が続いている。

人手不足感が上昇し、求人にも苦戦している組合員が出てきている。

- ・「資材関連」においては、マンション等民間工事は減少傾向、公共工事も伸び悩み、受注面においては厳しい。一部競争激化となり、採算面悪化が懸念される。
- ・「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦、前年割れが続いている。
- ・「食品」においては、外食産業向け販売は横ばいで推移。人手不足により外国人の採用や店舗の

閉鎖、を検討しているところもある。

- ・「繊維」においては、大衆の購買意欲が廉価品に流れていることから、採算低下を招いている。
- ・「資材」においては、建設現場社員を募集するが、人が集まらない。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の9月の住宅着工状況は、前年同月比14.4%増加、内訳としては、持家が11.6%減少、分譲55.6%増加、貸家12%増加と、分譲、貸家が非常に増加したが、持家は大きく減少した。年末に向けて多少市況も動き出している状況である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

廃業により、12月末で1社脱退する。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

生産農家のポット苗のい草植え作業は終了しているが、手植えは苗の準備ができ次第で、12月に入ってから植え付けとなる。本格的な秋需要も過ぎ、年末仕事は少ないようであり、小口の入用買いが少しずつ出ている状況である。相場は、強気配の横ばいが続いている。

小売業

●各種商品小売業

チュールリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

今月から、地区内保育所への新規納品が増えた。それに伴い、収益も好転している。社員の高齢化で、1人退職したことに伴い求人募集をしているが、なかなか人が来ない。

協同組合三次ショッピングセンター

三次市が発行するプレミアム付商品券を当施設で販売し、11月後半の客数、売上は伸びたものの、対前年同月比は減少となった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

11月度の販売実績は前年同月比3.1%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比14.3%減少、冷蔵庫同1.5%減少、洗濯機同18.8%減少、IHクッキングヒーター同3.1%減少、エアコン同4.1%減少となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

原油価格の高騰及び為替の円安傾向により、原油の調達コストが上がり続けており、当然、石油販売業者の仕入れコストも上がっている。販売価格の上昇は、一層の需要減少につながりかねない。

11月末に開催されたOPEC総会において、協調減算の延長が決定されており、今後も高値で推移するものと思われる。

仕入価格は、10月最終の改定から4週連続で値上げであったため、小売りは価格転嫁に苦慮していた。特に掛売となっている大口取引とは、価格交渉が必要で、上げ幅、転嫁時期ともに思惑通りにはいかない模様である。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

今月の売上は、対前年比減少となった。広島東洋カープのクライマックスシリーズ敗退の影響が大きい。

平日の通行量は対前年比減少傾向にある。

呉本通商店街振興組合

食料品、日用品雑貨を販売していた小売店が10月末で閉店。突然の店舗閉鎖で、原因や今後の展開は不明であるが、恒常的な売上不振が原因ではないかと思われる。また、自然食品を利用したおむすび等を販売していた小売店も11月末で閉店。店主の高齢化と後継者不足が要因である。

空き店舗で開店準備をしていた安値の理髪店が11月にオープン。既存店との競合が予想される。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比5.4%減少、前年同月比4.1%減少。車検場収入は前月比2.8%減少、前年同月比1.3%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比0.01%減少、前年比0.7%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

先月に引き続き、全体的に低調である。年内に3社が会員組合を脱退予定で、内2社については後継者不在に伴う廃業による脱退である。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比13.7%増加、前年同月比11.0%増加となった。

広島県室内装飾事業協同組合

完成物件が増える時期に入ってくるため、売上増加を期待している。

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目では、壁装クロスの売上が伸びており、対前月比43%増加となった。前年同月比は37%増加、累計比では20%減少となっており、前月に比べると上向き傾向である。全般的に多忙ではあるが、人手不足も大きく起因している。

神辺建設業協同組合

各自治体の発注工事は、年度末を控え、年度内工期などの要因から減少傾向にあり、今後小規模工事主体の案件が増加するものと思われる。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

鉄鋼、鋼材関連の動きはやや悪い印象であったが、全体的な荷動きは堅調に推移した。

ここ3ヶ月で燃料価格が10円近く高騰し、12月も値上げ模様で、収益状況の改善を懸念している。

松永地区トラック事業協同組合

11月は忙しい割に、売上高は前月比変化なしとなった。収益状況は軽油価格が9月頃から次第に上昇し、収益を圧迫し始めている。石油元売各社の予想では、12月も上昇傾向は続く見込みであり、運賃値上げが難しい現状では、収益状況は益々悪化するものと思われる。

ドライバーの雇用について、改善の兆しは全く見えないため、今後は今以上に高齢者ドライバーが増加してくるのではないかとと思われる。働き方改革を早急に変更し、職場環境を改善しなければ、若年ドライバーの定着や育成は、益々難しくなるのではないかと心配している。

広島輸送ターミナル協同組合

ドライバー不足により、車両の運行が円滑に出来ない状況が続いており、年末繁忙期を前に深刻な問題となっている。

11月4日「新標準貨物自動車運送約款」が施行され、荷主との運賃値上げ交渉に効果を期待する。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。
運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

5,000万円超のマンション販売がやや鈍化傾向にある。